

◆令和5年度全国学力・学習状況調査《 6年生 国語科 》

全体の概要

思考力・判断力・表現力は佐賀県と全国の正答率を上回っている。知識・技能はほぼ全国平均と同じである。知識・技能の中では、言葉の使い方（漢字）の正答率が高いが、情報の扱い方に関する事項の正答率が低い。無解答率は低く、粘り強く学習状況調査に取り組んでいる。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を書くことはよくできている。 ・文章と文章の関係の読み取り（原因と結果など）について課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードに印をつけて、情報を分類して関係付けたり、目的に応じて必要な情報を選び出したりするような場面を学習の中で設定する、 ・説明的な文章を読む際に、原因と結果など文章と文章の関係（情報と情報の関係）を読み取り、文章全体の構成を考えさせる学習を行う。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと、聞くことは、佐賀県や全国の平均を上回っている。 ・書くことにおいては、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかの問題は、佐賀県、全国の正答率を上回ることができた。 ・読むことは、全ての問題において佐賀県、全国を大きく上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むことの領域において、文章を読むときに、キーワードに線をひいて、必要な情報を読み取らせる。 ・国語において、修飾や主語、述語など国語の学習でおさえるべき基本的な用語は、意味を学ばせ、確実に習得させる。

◆令和5年度全国学力・学習状況調査 《 6年生 算数科 》

全体の概要

全体の正答率は、佐賀県・全国を上回っている。知識・技能においては、佐賀県・全国ともに上回っているが、思考・判断・表現は、佐賀県・全国とほぼ同じ正答率であった。

無解答率は、低く難しい課題であっても、自分の考えを書こうという意欲がみられる。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の意味や性質については、よく理解できていた。 ・知識、技能の中で、数と計算の領域の一の位が0の二つの2位数において、情報の計算をすることができるかの問題について課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の授業の前に行っている公式や九九などの基礎的な知識を音読することで習得する「算数音読」を今後も行い、基礎・基本の知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数÷1位数の筆算について図を基に各段階の商の意味を考えることができるかについて課題がある。 ・同じ幅のテープの中の底辺の長さしかわからない2つの三角形の面積が求められるかという問題において、その理由と言葉や数を用いて記述できるかという点に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算の学習において式の意味を問う児童同士の交流において、式の意味を計算の過程と関連させて説明させる等の学習指導を行う。 ・面積指導では、面積を求める公式にいたるまでの過程を、なぜそう考えるのかと児童に問うたり、交流学习において、児童同士で理由を説明しあったりする学習を行う。